

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年 6月 7日	
愛知県知事 殿	東京都中央区日本橋小網町17番2号 協同乳業株式会社 代表取締役 宮崎 幹生
提出者	
住所 愛知県犬山市字新川1-10	
氏名 協同乳業株式会社東海工場 工場長 村上 竜太	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0568-69-0873	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	協同乳業株式会社 東海工場
事業場の所在地	愛知県犬山市字新川1-10
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	09 食料品製造業
②事業の規模	生産高 955,397万円
③従業員数	92名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	製造工程から排出→中間処理(脱水)→収集運搬→中間処理→再資源化(堆肥化) 製造工程から排出→収集運搬→中間処理→再資源化(堆肥化・飼料化・原料化)

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図) (管理体制図) 本社生産技術部環境対策室</p> <p>↓</p> <p>工場長</p> <p>↓</p> <p>施設課長 省エネ委員会</p> <p>↓ ↓</p> <p>施設員 従業員</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1, 2のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1, 2のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック・焼却物のマテリアルリサイクル化		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチックのリサイクル化		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（排水処理汚泥）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3665 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（排水処理汚泥）	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3298 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3, 4のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3, 4のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（排水処理汚泥）	動植物性残さ
	排 出 量	4243 t	141 t
	（これまでに実施した取組） 汚泥削減用腐植剤の導入 排水処理の安定稼働・管理 製造工程での歩留り向上 廃棄物削減の社内目標の設定 脱水機の定期メンテナンスの実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（排水処理汚泥）	動植物性残さ
	排 出 量	3819 t	141 t
	（今後実施する予定の取組） コストダウン委員会を中心に歩留りの改善 排水処理の安定稼働・管理 汚泥削減用腐植剤の導入 製品ロス低減 出荷許容日オーバー品の削減		

別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	燃え殻
	排 出 量	19 t	9 t
	（これまでに実施した取組） 分別による有価物化 製造工程での歩留り向上		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	燃え殻
	排 出 量	30t	3 t
	（今後実施する予定の取組） 製品ロス低減 製造工程での歩留り向上 2024年5月にて焼却炉の廃止 各職場にて有価物と廃棄物の分別を徹底させる		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（排水処理汚泥）	動植物性残さ
	全処理委託量	424 t	141 t
	優良認定処理業者への処理委託量	424 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	424 t	141 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） リサイクルの推進 汚泥含水率の低減 有価物化の推進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（排水処理汚泥）	動植物性残さ
	全処理委託量	380 t	141 t
	優良認定処理業者への処理委託量	380 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	380 t	141 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 更なるリサイクル化の推進 可能な限り優良認定処理業者に委託する 有価物化の推進		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	燃え殻
	全処理委託量	19 t	9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	19 t	9 t
	再生利用業者への処理委託量	19 t	9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) リサイクルの推進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	燃え殻
	全処理委託量	30 t	3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	30 t	3 t
	再生利用業者への処理委託量	30 t	3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ごみの分別の徹底し、処理量の低減をはかる 2024年5月にて焼却炉の廃止 焼却炉の廃止に伴い、一部可燃ごみを廃プラスチックと混合して搬出するため廃プラスチック類の処理委託量が増えると思われます。		